

令和3年度 第1回 広島製菓専門学校 教育課程編成会議
日時：令和4年8月29日 月曜日 17:00~17:40
場所：株式会社 ポストン
参加者：古澤・栗栖・品川
授業・実習の成果
学校 3年目のコロナ禍での授業・実習で、概ね対面授業を行なっている。実習に関しては対面で行なっている。しかし、プロのパティシエやブランジェの方を招いての授業は以前ほどではない。
委員からの意見 洋菓子、パンにしても製造になるので、実習はとても重要である。コロナ禍での対応の難しさはこれまでよりは軽減されたかもしれないが、どの様にされているか。
学校 対面での実習は本校のみならず実践力を学ぶ専門学校においてはなくてはならない要素である。しかし、食に関係するものなので、マスク等の対応や試食のやり方などは感染に留意して行なっている。 細かな内容的にはまだまだコロナ禍での対応と言わざるを得ない。
江田島・三瓶研修について コロナ禍になって以来、年間2回の宿泊研修を中止し、学校内研修に置き換えている。今年度もコロナに対する現状や認識も変化しているが、複数人部屋での就寝、団体行動を考えると中止という判断になってしまう。 宿泊研修の意義は体験や教育面だけではなく、クラスや学生同士のコミュニケーションの向上に効果があると考えている。 しかし、学生の中で宿泊研修を経験した者がすでに存在しないので対応が難しい。

委員からの意見

コロナ禍なので宿泊に関する行事は難しいは仕方ないのでは無いだろうか。今後、コロナがどうなるかも我々にはわからない部分も多い。しかし、企業としての経済活動もそうであるが、少しずつかわっていつているので、状況を見ながらの対応が必要と思う。宿泊研修の効果を別の形に補えるように工夫するしかないと思う。

技能五輪等の活動について

学校

10月には技能五輪の世界大会があり、本校の卒業生が出場することになっている。現在、選手のみならず、対応している先生たちが大会に向けて非常に頑張っている。対応している教員の指導やサポートは本当にありがたく感謝している。勿論、こうした状況が技能五輪（国内）を目指している在校生のみならず、みんなが良い刺激を受けていると思っている。また、それを授業（実習等）に反映させて行きたい。

ジャパンケーキショーを目指している学生も良い刺激を受けているし、日々の努力と先生がたの指導やサポートに感謝している。

委員からの意見

技能五輪の世界大会は広島製菓専門学校として初めての事と聞いている。わからない事が多いと思うし、世界大会は何が起こるかわからないのでサポートしている先生がたも大変だと思うので頑張ってほしい。

確かに、ごく一部の学生だけの出来事ではなく、学校全体に反映してほしい。

広島ケーキショーについても参加しているので頑張って欲しい。

製菓実習について

学校

企業が求める人材像についての業界からの意見について

委員からの意見

毎年の確認になってしまうかもしれないが、求める人材像は明るく元気で挨拶ができ、仕込みや片付けがきちんと出来るかだと思う。

業界としての特徴やお店によって異なる部分もあるが、決して楽しいばかりの仕事ではないと思う。立ち仕事であるし、厳しい部分も多いと思う（パン屋であれば朝が早い等）。変に誤解されてはいけないが、厳しさも理解して入ってきてほしい。長く続いて欲しい。

学校

先ほどの宿泊研修で仕事としての厳しさ（一般的なものも含めて）を学生に伝えてきたつもりである。現在、その宿泊研修が中止になっているので、そうした内容を伝えられないと言わないが、普段の授業を通じて、業界の楽しさ、意義、厳しさとバランスよく伝えて行きたい。